

保育カンファレンス

【内容・目的】

①「光輝(かがやき)視点の保育」における環境・援助を改善するための エピソード記録を用いた保育カンファレンス(遊びや活動に焦点をあてて)

令和4年6月22日(木)・23日(金)

年少:しゃぼん玉遊び(泡遊び)
年中:せっけん泡遊び
年長:インコのピピコちゃん～生き物の命と向き合う～

「光輝(かがやき)視点の保育」の実践エピソード記録から保育カンファレンスを行う。エピソード記録を考察することで、「光輝(かがやき)視点の保育」においてめざす資質・能力が育まれているか、そのためにはどのような環境・援助がふさわしいのかを考え、さらなる保育の質の向上を目的としている。



②子どもの育ちの評価のための エピソード記録を用いた保育カンファレンス(個の育ちに焦点をあてて)

令和4年5月13日(金)・7月22日(金)

年少:おままごと、粘土遊びでの友達とのかかわり
年中:鬼ごっこ・忍者修行
年長:アイドルごっこ・サクランゴ採り

「光輝(かがやき)視点の保育」においてめざす資質・能力が現れている具体的な子どもの姿を記述したエピソード記録から保育カンファレンスを行う。エピソード記録を考察し、子どもの変容から子どもの資質・能力の育ちを評価するとともに、子どもの姿の見取り方を深め、よりよい教師の手立てを繰り返し検討することでさらなる保育の質の向上も目的としている。



①・②どちらの保育カンファレンスにも、幼小接続期部会所属の小学校の先生が参加。

幼稚園・小学校で子どもの実態を共有し合いながら子どもの姿と教師のかかわりの相互理解を深めている。

【エピソード・保育カンファレンスを通して明らかになった援助】(一部紹介)

先生や友達の影響を受けながら、やってみたいことを思いっきりやることのできる教師のかかわり

子どもが自分のよさに気付いたり自分自身を認めたりするきっかけとなるように、子どもの自分なりの工夫をしっかりと認める教師の援助

自分事として考え、じっくりと命と向き合うための場の設定